不審者撃退！刺股訓練

本年６月末日、「ボランティアセンターみちくさ」さんにおいて、刺股の使い方の講義をさせていただきました。みなさん覚えるのがとても早く、見事に不審者を撃退‼今後もご依頼や機会があれば、是非実施したいと思いますので、よろしくお願いします‼

弟子屈警察署ホームページ　https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/00ps/teshikaga-syo/index.html

摩周一一〇番

弟子屈警察署
所在地交番
☎４８２-２１１０
川湯駐在所
☎４８３-２１５１

地域安全ニュース

令和７年８月発行　第335号
弟子屈地区防犯協会連合会
☎４８２-２１１０（弟子屈警察署内）

北海道警察公式防犯アプリ ほくとポリス

皆さんの安全と安心な暮らしを守る機能を搭載

App Store　Google Play

ちかん撃退・防犯ブザー

- ブザー音や「ちかんです」という音声で、周囲に助けを求めます。
- 使用時には、アプリで登録したメンバーに、位置情報を送信します。

現在地送信

- アプリ登録された方同士で、グループを作成し、そのメンバー間で簡単なメッセージと現在地を送信できます。
- 家族とはぐれたときなどに便利です。

防犯マップ

- 犯罪・不審者・特殊詐欺の情報を、マップに表示します。
- マイエリア（あらかじめ登録した地域）の不審者情報は、プッシュ通知でお届けします。

パトロール

- 日々の防犯パトロール活動を記録します。
- パトロールを実施すると、ポイントが獲得でき、獲得したポイントを使って昇任試験にチャレンジできます。

「あなたの口座が不正に使われている」警察官をかたるサギ電話多発中！

- 警察官をかたり、捜査などの名目で金銭をだましとる「ニセ警察詐欺」が多発しています。
- ご家族や知人にも、注意するよう伝えてください。

カメラスケッチ　広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係　☎482-2913（課直通）

６月15日

自慢の牛を競い合う

第71回弟子屈町家畜共進会を開催

グランドチャンピオン受賞牛を囲んで

町とＪＡ摩周湖共催の第71回弟子屈町家畜共進会が６月15日、町営牧場冬季預託用牛舎で開催され、乳牛の部には酪農家４戸から26頭が出陳し、盛大に行われました。

主な審査結果は次のとおりです。

▷グランドチャンピオン／インレット　ＧＢ　ジョリス（江上和彦さん所有）▷リザーブチャンピオン／インレット　ＭＳ　ラムジー（江上和彦さん所有）▷ジュニアチャンピオン／グリークエスト　ＲＯ　サイバー　デンプシー（坪井秀明さん所有）▷ジュニアリザーブチャンピオン／ブライトランド　パタンシェラトン（坪井泰憲さん所有）

６月20日

犯罪や非行のない地域社会を目指し

町社会を明るくする運動推進委員会総会を開催

議事進行を行う徳永委員長

町社会を明るくする運動推進委員会（徳永哲雄委員長）の令和７年度総会が６月20日、町役場で開催されました。

同委員会は、町における青少年の非行防止や健全育成の推進を図り明るい町を築くことを目的に、街頭啓発などの活動を実施しています。総会では、昨年度の事業・収支決算報告や、今年度の事業計画案・収支予算案が承認されたほか、今後の活動内容の見直しについて意見を出し合い、明るい地域づくり活動への意識を高め合いました。

６月18日

教育活動や学校運営の向上に貢献

勲章・瑞宝双光章を受賞

今回受賞した舘さん（左）と岩原教育長（右）

元奥春別小学校長の舘忠良さんに瑞宝双光章が授与され、その伝達が６月18日、舘さんの自宅で行われました。

瑞宝双光章とは、長年にわたり公務などに従事し成績を挙げた方に贈られる勲章のことです。舘さんは昭和40年度から和琴小学校教諭、弟子屈小学校教諭を経て、平成４年度から５年度まで弟子屈小学校教頭、平成６年度から９年度まで奥春別小学校長を務めました。長年にわたる功績が認められ今回の受賞となり、岩原勝行教育長から勲章と勲記が手渡されました。

６月22日

自然写真家・水越武さんの作品に触れる

写真展ギャラリートークを開催

水越さんによるトークの様子

てしかが郷土研究会（松橋秀和会長）が主催する、町内在住の自然写真家・水越武さんの写真展「知床　残された原始」が５月28日から６月29日まで摩周観光文化センターで開催され、６月22日には水越さんの第２回ギャラリートークが行われました。

水越さんはこれまでに日本写真協会賞年度賞や第18回土門拳賞、北海道功労賞など数多くの賞を受賞しており、水越さんの作品や解説を見聞きしようと、会場には30人を超える方が来場されました。

６月20日

交通事故リスクを再確認

町消防団定例訓練を実施

夜間の視界の悪さを確認

釧路北部消防事務組合弟子屈町消防団（不動繁雄団長）の定例訓練を６月20日、弟子屈消防署（池田保士署長）庁舎で実施しました。

消防団員32人、消防職員９人が参加した今回の訓練では、弟子屈警察署（鈴木将人署長）より講師を招き、榊聡地域・交通課長による安全運転講話および夜間運転技能講習を行いました。夜間運転技能講習では車の蒸発現象などを実際に再現し、夜間運転の危険性を再確認しました。榊課長は「今回の訓練を現場で少しでも思い出してもらえたら。」と話していました。

カメラスケッチ 広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913（課直通）

6月24日、7月14日、16日

人権について考える

小学校で人権教室を開催

人権について学ぶ児童

釧路人権擁護委員会（伊藤明日佳会長）主催の人権教室が、6月24日に美留和小学校（齊藤靖恵校長）、7月14日に弟子屈小学校（佐藤義行校長）、16日に川湯小学校（山舘孝志校長）でそれぞれ開催されました。

講師は町人権擁護委員の日下部眞理子さん、金井典子さん、芳藤啓順さんの3人が務めました。児童は、インターネットの危険性をテーマにした紙芝居を鑑賞したり、「人ＫＥＮまもる君」と触れ合ったりして、人権への理解を深めました。

6月25日

短時間バイトで人員確保

事業者向けタイミー説明会を開催

説明を受ける参加事業者

昨年10月に包括連携協定を締結した短時間アルバイトの仲介アプリを運営する株式会社タイミー（小川嶺代表取締役）による、スキマバイトサービスに関する事業者向けの第2回説明会が6月25日、町役場で開催されました。

人手不足解消に向けた今回の説明会では、町内の13事業者が現地またはリモートで参加。サービスの仕組みやメリットの説明、活用事例の紹介などを受け、理解や関心を深めました。

6月25日

援農への思いをつなぐ

援農の碑記念式を開催

功労に対する感謝を込めて

太平洋戦争中の1945年（昭和20年）、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校（現・久慈東高校）の生徒をたたえる「援農の碑」記念式が6月25日、摩周観光文化センター敷地内の同碑前で行われました。

同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年（平成元年）6月25日に建立されました。式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となって毎年行っており、今年は町内の関係者14人が出席し、生徒たちの功労や苦労に思いをはせました。

6月27日

公共交通の在り方を追求

町地域公共交通活性化協議会を開催

徳永会長による冒頭あいさつの様子

町地域公共交通活性化協議会（徳永哲雄会長）は令和7年度第1回目となる会議を6月27日、町役場で開催しました。町や道の関係者、バスやタクシーの事業者など委員16人が出席した今回の会議では、昨年度の事業完了報告や収支決算報告のほか、今年度の事業計画案「弟子屈えこパスポート事業」や「町交通空白解消乗合ハイヤー事業」などが承認されました。

徳永会長は「公共交通をしっかりと組み立て、町民に安心してもらえるよう協議していきたい。」と話しました。

6月27日

川湯の町を探索しよう

川湯保育園が歩き遠足を実施

硫黄山まで先生たちと歌いながら

川湯保育園（小林史和園長）は6月27日、園児たちの歩き遠足を実施しました。0～2歳児は旧園舎の園庭へ向かい自然探索を行い、3～5歳児は川湯を探索するため市街地を経由し硫黄山までの道のりを元気に歩きました。

目的地到着後はみんなが待ちに待ったお昼ご飯の時間で、たくさん歩いてお腹を空かせた園児たちは、外で食べる美味しいお弁当を口いっぱいに頬張り、満面の笑みを浮かべていました。

6月30日

町内小中学校教職員が参集

教育研究所が第２回研究部会を開催

授業での取り組みを紹介する澤田教諭

町教育研究所（工藤博之所長）は6月30日、第２回研究部会を町内各小中学校で開催しました。

町立学校教職員が９つの研究テーマ毎に行っている部会の内、今回は「授業に研究を取り入れる部会」で、附属釧路義務教育学校（早勢裕明校長）後期課程の澤田康介教諭を講師に招き、『理論研「授業に研究を取り入れる秘訣」』を弟子屈中学校（小林一博校長）で実施しました。参加した教職員は今後の学校教育発展を目指し、澤田教諭の授業方法を参考に、積極的な意見交換を行いました。

6月28日

弟子屈町内４郵便局

街をきれいに！ゴミ拾い実施

参加した郵便局の皆さん

町内４郵便局（弟子屈・川湯・美留和・屈斜路）は6月28日、社員の環境保護、地域貢献、社会貢献意識を高めるため、美留和地域のゴミ拾いを実施しました。

この取り組みは６月の町環境月間に合わせて毎年行っているもので、今回は総勢19人が参加し、交差点角に隠れているゴミを中心に草むらをかきわけ拾いました。落ちていたゴミの多くがキャンプで使用した物で、焼き台や発泡スチロール、ビニール靴、空き缶などが集まりました。

7月8日

記念すべき初出荷

弟子屈産ワイン「テシカロゼ2024」7月12日発売

テシカロゼを手にする上村代表取締役（左）と木龍取締役（中央）

昨年８月にオープンした屈斜路カルデラワイナリーを運営する株式会社テシカガファーム（上村剛志代表取締役）が、同ワイナリー初出荷となる弟子屈産ワイン「テシカロゼ2024」の発売を7月８日、町役場で発表しました。

テシカロゼは同社が栽培したブドウ「山幸」を使用。バラのつぼみやハマナスを思わせる華やかなアロマと、イチゴのような果実感、すっきりとした酸味が特徴のナチュラルワインです。醸造責任者の木龍奈津子取締役は「山幸の可能性を感じてもらえる1本になった。」と振り返りました。

7月7日

願いが叶いますように

認定こども園ましゅう七夕まつり

願いを込めて天の川作り

認定こども園ましゅう（高野龍彦園長）は７月７日、町子育て支援センター「ひなたぼっこ」のこどもたちと一緒に七夕まつりを行いました。

先生方による七夕人形劇の中で、こどもたちはステージに色とりどりの星をたくさん貼り付け、みんなで大きな天の川を作り、１年に一度の彦星と織姫の出会いをお手伝いしました。人形劇のあとは「たなばたさま」を大きな声で元気よく歌い、七夕まつりをみんなで楽しみました。

7月17日

未来の環境保全のため

釧路川にヤマベの稚魚放流

稚魚を放流する園児たち

釧路・リバー・プロテクション・21の会（川村利明会長）によるヤマベの稚魚の放流が７月17日、釧路川ふれあい広場で行われました。

同事業は平成21年から魚類資源回復のために行われており、今年は釧路開発建設部釧路河川事務所（西藤浩二所長）や町、認定こども園ましゅう（高野龍彦園長）の園児15人のほか、保育体験実習を行っていた弟子屈中学校（小林一博校長）３年生10人が参加しました。1,500匹ものヤマベの稚魚が釧路川に放流され、元気に泳いでいきました。

7月9日

環境整備への尽力に感謝

東星渡部建設株式会社に感謝状贈呈

感謝状を手にする山村代表取締役（右）

５月22日、30日に社会貢献活動を行った東星渡部建設㈱（山村聡代表取締役）に対し町は、感謝状の贈呈式を７月９日、町役場で行いました。

同社は社会貢献活動の一環として、摩周観光文化センターに隣接する摩周運動公園内の、ソフトボール場の整備とコミュニティ広場の転圧作業を、重機５台などを用い職員７人で実施。町は同社の厚意に感謝の意を表し、徳永哲雄町長より感謝状を贈呈しました。